



最高の眺めです
 鴻ノ巣公園展望台！

新しいいいこの場所「鴻ノ巣公園展望台」が昨年12月に完成しました。鴻ノ巣山頂上（標高117m）に設置されたもので高さ約5m。らせん階段を上がり、ぐるっと周囲を見わたせばまず目につくのが整然と広がる田園地帯。そして北東に神六山系、南に虚空蔵山、西に弘法岳山系からわずかに大村湾を望むことができ最高の眺めです。また、わかりやすく描かれた陶板製の観光案内も魅力的。展望台までの園路沿いには、ツツジ、桜、もみじなど約3,200本が植えられ、花見やハイキングにはもってこいの場所です。ご家族ずれて是非一度行ってみませんか。

広報 **はさみ**

1 / 61
 No.275

町の人口（60年12月末）

- ・総人口 15,941人
- 男 7,678人
- 女 8,263人
- ・世帯数 3,883世帯
- ・転入 7人・転出15人
- ・出生 7人・死亡 4人

新町三十周年を契機に

さらに飛躍を

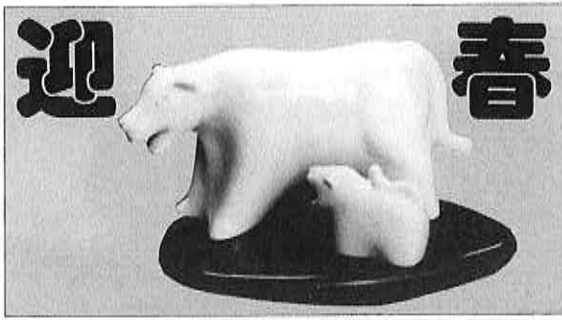
波佐見町長 福田 寛吾



く住みよい文化豊かな町づくりを目指し全力を注いでまいりました。

本年はさらに、旧上波佐見町と旧下波佐見村が合併し、新町発足してから三十周年の記念すべき年にあたり、二十一世紀に向けての大きな飛躍を期して諸施策の推進に心を新たに努力を重ねる所存でございます。

本町は、町の将来像を「開かれた創造性豊かな活力ある



明けましておめでとございます。昭和六十一年の輝かしい新春を迎えるにあたり、謹しんで皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。私も就任以来、皆様の暖い御支援と御協力を賜り「明る

町民皆様と一体と

なつた議会運営を

波佐見町議会議長 末岡 秋夫



を心からお祈り申し上げます。本年は、新町発足三十周年の記念すべき目出たい年に当たりますが、本町はこの長い歩みの中ですばらしい発展を遂げてまいりました。

町民のみなさん、明けましておめでとございます。昭和六十一年の輝かしい希望に満ちた新春を迎えるに当たり、皆様の御健勝と御繁栄

町」として定めておりますが、昨年は、念願でありました一般国道三十五号武雄佐世保道路の工事着工をはじめ、新幹線長崎ルートの路線発表、ナガサキテクノポリス地域の開発承認、町民総合会館の一環として勤労者体育センターの建設、公営住宅協和団地建設、陶芸の館の幅広い活用、鴻ノ巣公園の整備充実などの諸施策を講じてまいりました。

また、従来から「まちを自然を美しく」を合言葉に環境の美化に取り組んで来ましたが、昨年十二月には、日本農村振興協会が主催する「わが村は美しく全国コンクール」

に九州代表として参加、全国第二位の農林水産大臣賞の榮譽に輝きました。

これは、自然環境、伝統文化、生活環境などに特に優れているとして認められたもので、これもひとえに町民皆様をはじめ関係各位の御協力の賜と厚く感謝申し上げます次第です。

一方、本町の基幹産業である窯業をとりまく環境は非常に厳しい状況にあります。この苦境を乗りきるためには、産地全体が大同団結して、消費者ニーズに合った新商品の開発など当面する諸問題に立ち向かい、お互いが創意工夫

を心から祈り申し上げます。私ども町議会といたしましても、これまで議員定数を二名削減し、委員会運営を中心として議会活動を広く町民皆様にお知らせし、開かれた議会を目指してまいりました。

更に、昨年十二月には、行政改革特別委員会を設置いたしました。議会の組織、運営の合理化等について積極的に取り組んでおりますので、町民皆様と一体となつた議会運営を固り住民福祉の向上のため一層努力する覚悟でありま

に努力していけば新たな活路が見い出せると信じます。また、農業面については、引き続き新農構事業、土地改良総合整備事業、林道開設事業など積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

これからも、産業経済の発展を期するとともに、新町三十周年を契機として、二十一世紀へ向け活力ある町づくりを目指して、皆様とともに心を合わせ最善の努力を傾けてまいります。

どうか、皆様の暖い御支援と御鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。本年も、町民各位の積極的な御意見を拝聴し、町政発展のため全力を尽くす所存でありますので、今後とも御指導、御鞭撻のほどお願い申し上げます。まして新年のごあいさついたします。



波佐見町消防団

団長に田崎 登さん就任

副団長は石本松行さん



団長の田崎 登さん



副団長の石本松行さん

波佐見町消防団長の末岡秋夫さん(井石郷)が、十一月三十日付で退任され、新しい団長に田崎登さん(宿郷)が十一月一日付で就任されました。末岡さんは、昭和三十一年に入団、以来約三十年の永きにわたり心血を注がれ、特に五十年からは団長として、その大任を全うされました。

長年にわたる末岡さんのご功勞に感謝するとともに、今後のご健勝を祈念します。新団長の田崎さんは、五十年から副団長として活躍して

こられました。今後、本町防
災安全の指揮者としてご尽力
いただくこととなります。

田崎団長の就任により、空
席になった副団長には石本松
行さん(川内郷)が、十二月
十六日付で就任されました。

今井副団長とともに、田崎団
長の両腕となって今後活躍し
ていただくこととなります。

以上により本町消防団の役
員構成は次のとおりとなりま
す。(敬称略)

- 消防委員長 太田 稔(学識)
- 副委員長 山口博資(議會)
- 委員 吉村武夫(学識)
- 山田庄一(学識)
- 小柳繁信(学識)
- 棚倉 勇(議會)
- 松田 保(議會)
- 田崎 登
- 今井昭夫
- 石本松行
- (以上消防委員)
- 本部分団長 河野伸夫
- 第一分団長 川口 等
- 第二 " 野口博幸
- 第三 " 福嶋徹郎
- 第四 " 田崎 優

- 第五分団長 岩崎義信
- 第六 " 馬場正明
- 第七 " 梅沢重人
- 第八 " 榎山剛治

新春を飾る

消防出初式

新春恒例の消防出初式が、一月五日南小学校グラウンドで行われました。

小雪が舞う悪天候の中、午前八時三十分から礼式訓練・服装点検・機械器具点検が行われ、そのあと田崎団長が「末岡前団長の消防精神を受け継ぎ、団員一丸となって町民の安全を守るため最善を尽くしたい」と就任のあいさつをしました。さらに、消防功勞者の表彰

式が行われ、県消防協会長表彰、町長表彰、団長表彰などに九十八人がそれぞれ受彰しました。引き続き南小学校から温泉センターまでラッパ隊を先頭にした分列行進と温泉センター裏で放水演習を行い、全日程を終了しました。



分列行進



式典を盛り上げるラッパ隊



礼式訓練

事件・事故をなくそう

町内をパレード

事件・事故をなくし
さわやかな新年を——
と十二月八日「交通安全・歳末防犯推進郡民大会」が勤労者体育センターを主会場に開催されました。

大会は郡民に交通安全、防犯思想の高揚を図るため、川棚警察署・東彼三町・川棚地区交通安全協会・防犯協会連合会など関係機関十三団体が主催したもので、午後一時十五分から県警音楽隊を先頭に約四百人が宿ノ体育センター(寺ノ下経由)約二、三キロをパレードしました。さらに午後二時から勤労者体育センターで交通安全・防犯の集いが開かれ、「平和で明るく安全な東彼杵郡を築くため、郡民一人

ひとりが事件・事故防止を目指し、家庭・職場・地域から交通安全の輪を広げ、安全な歩行を励行し、飲酒運転・暴走運転を追放します」など三項目の大会宣言を行いました。アトラクションでは、婦人交通指導員のマジック、三町交通安全母の会会員による舞踊、最後に波佐見中ブラスバンド部と県警音楽隊による合同演奏があり、大会のフィナーレを飾りました。

交通安全・歳末郡民大会

明るい社会は

まずあいさつから

——第二回明社発表大会——

第二回明るい社会づくり推進運動意見発表大会が、十二月七日勤労者体育センターで開催されました。

五十八年七月に発足した同推進協議会。これまで定期的に明社広報を発行し、明るい社会づくり運動への積極的参加を呼びかけるとともに、各種奉仕活動、講演会、オアシス運動の推進など盛んに取り組まれているところです。

会場には、町内の各小中学生をはじめ一般からお年寄りまで約四百人が参加、十五人の意見発表に熱心に聴き入っていました。

なお、発表者は別表のとおりですが、内容については今後、同協議会でまとめて発行することになっています。

表彰式では、まず献血推進功労者として献血五十回以上の岳辺忠彦さん(五十六回)

明社意見発表者

(敬称略)

所属	氏名	地区	発表演題
南小6年	松尾 健司	長野	気持ちよいあいさつ
"	林 奈美葉	"	仲間の輪を広げよう
中央小6年	百崎しおり	宿	美しい町づくり
"	中田恵理子	折敷瀬	歌で明るい町づくり
東小6年	石橋 昌子	永尾	明るい社会に生かされて
"	武村友里江	湯無田	みんなと共に
波中2年	山下 文香	金屋	家庭の一員として
"	3年 深沢 孝之	湯無田	中学生として出来ること
高校1年	山口 恭子	佐世保市 勝海町	波佐見に来て感じる事
"	2年 中村 美春	皿山	心に緑を
青年団	藤川 清記	折敷瀬	若者
"	洪江 里美	井石	一つの出会いから
婦人会	馬場 三芳	中尾	来た時よりも美しく
高齢者入	溝田 義雄	折敷瀬	私の生き甲斐と感慨
"	壺尾 ミユキ	乙長野	明るい社会は家庭から

岳辺田郷)と石橋良一さん(五十回)川内郷)が受彰、さらに今年度町花だんコンクール(最優秀)鬼木老くほか十一地区)の表彰も併せて行われ、賞状と記念品がそれぞれ贈ら

れました。



波中ブラスバンドが花を添える



いじめ **その1** 観衆と傍観者

いじめの問題を考えると、とかく、いじめっ子といじめられっ子の関係だけに目を向けがちです。しかし、加害者と被害者のほかに、はやしたてたりして面白がる“観衆”と、見て見ぬふりをする“傍観者”が周りにいることを忘れてはなりません。周囲の子供たちの態度が、いじめそのもののあり方に大きく影響していきます。否定的な態度をとれば、いじめは確実に減少していくでしょうし、逆に面白がって“拍手”をおくるようだと、ますますエスカレートしかねません。抑止力としてはたらくか、加勢する側にまわるか——周りの子供たちの存在が、いじめを左右するカギとなっています。

■いじめを防ぐには観衆や傍観者の協力が必要

いじめが表面化したときの親と子の会話——
「そのとき、おまえは何をしていたの」
「ぼくはカンケイないよ」「よかったわね、第三者で」
いじめっ子になるのも、いじめられるのも困るが、“観衆”や“傍観者”でいてくれるのなら安心——これが大方の母親のホンネのようです。自分に火の粉がふりかからない限り、ヤレヤレ安心という気持ちになることが多いようです。

わが子が中学生にもなると「どうして止めなかったの！黙って見ているなんて、ひきょうでしょう」といった抑止力としての存在を子供に期待する親は、たいへん少数派になってしまいます。しかし、そのことを一方的に“否”と断って責めるわけにもいかないのが、現代のいじめの特徴でもあります。抑止力としての存在が、いつ、いじめられっ子の立場に立たされるか分かりません。いじめをやめさせようと立ち上がったって、周りの“観衆”と“傍観者”が同調してくれなければ効果をあげることができないからです。

■大人の世界を反映している子供のいじめ

“観衆”や“傍観者”の中には、自分の胸の奥にひそむ“いじめの気持ち”を投影して、いじめっ子を見ていることがあります。また、自分では直接手をくたさず仲間をあおっていじめさせていることもあります。このような態度が、いじめをよりエスカレートさせてきたといえるでしょう。

いじめの問題を、単に教育のひずみと断って片づけるには、あまりにも問題は複雑です。子供の世界というのは、結局は大人の世界を反映したものだといわれます。

1年半ほど前、横浜で、中学生が浮浪者を襲って殺した事件がありました。これは、ある意味で大人の世界のいじめの投影現象といえなくもありません。汚ない、不潔、排除してほしいといった浮浪者に対する大人の気持ちと、それを感じとった中学生——こうした背景があって事件が起こったと見ることが出来ます。大人自身が社会の一員としてもう一度よく考えてみるからこそ、いじめの問題をより深く掘り下げることにつながるのではないのでしょうか。



お茶の水女子大学教授
附属幼稚園園長
外山 滋比古

赤ちゃんにはやさしい声を
出していたお母さんが、こどもが三歳くらいになると、けわしい声になります。お母さんの声変わりです。
どうして声が変わるのかというと、よその子が気になるからです。うちの子がおくれているのではないかと心配なのです。小さな子をつれて

いるよそのお母さんがいると、近づいていって、「おい、くつですか」と聞かすにはいられます。
その子が同じ年で、うちの子よりもしっかりとしているよ。うだと、お母さんはいらだちます。「あなた、しっかりとしゃべってあげて」
どうも誤解があるようです。

三歳の児はみんないっせいに同じことができるものだと考えるのです。こどももめいめい発育のしかたが違います。
チューリップは春になると、早々と咲きますが、キクは遅くからがなばつても秋にならないと咲きません。こどもには

お母さんの声変わり

チューリップ型もあれば、キク型もあります。
キクちゃんのお母さんが「チューリップちゃんをばいばい。もう花を咲かせてるじゃないの。あなたグズグズ」
ものかかる小児科のお医者さんには、ニコニコしている先生もいれば、ちよつとこわい先生もいます。おもしろいことに、ニコニコ先生にかかった方がこどもの病気が早く

ズしてないで早く花をつけなさいよ”などと言ってみても、キクちゃん、どうしようもないでしょう。
目先のことであせるのは禁物です。じっくり花をまつのです。
こんな話があります。こどもをお母さんがいまして、こどもに外で働いているお母さんは、夕方帰ったときの声が朝よりもとげとげしくなっていくかどうかが反省してみよう。



成人おめでとう

社会に生かせ若い力

おめでとう 二十歳、一月十五日は「成人の日」今年、本町からは二百四十四人が新しく大人の仲間入りをしました。町では、成人の日より一足早い一月三日、勤労者体育センターで成人式を行いました。

新成人者をはじめ関係者約三百人が出席、福田町長、末岡議長らが祝辞を述べたあと新成人を代表して岸川昇さん(永尾)ら五人が「これからは、「社会人」として責任ある行動をしたい」と力強く意見発表を行いました。昨年は「国際青年年」で青年が地域社会にどのように参加していくのか問われた年でもあります。そして今年、青年の「力」を地域社会にどう生かすのか、若者たちの積極的な活動が期待される年であり、そのステップの年といえましょう。成人の日にあたり、新社会人としての抱負を次の五人の方々に話していただきました。

視野を広げて

林 早百合
(村木)



「成人」と言われ「えっもうそんな年なのか」と思い実感なかなか湧いてきません。まだまだ子供でいたいという気持ちで一杯です。今までの二十年間、月日に流されるままに生きてきたようです。しかし、これからは自分自身一日一日悔いなく大切に過ごしていきたいと思います。私はまだ学生なので親に頼ることしか知りませんでした。

人より倍甘えたつもりです。でも今からは、それができません。一人前の大人として認められ、世間からも扱われます。自分の行動には自分で責任をとらなければならないと思うと、偉くなったようで、でも、もう人は頼れないんだと思うと不安も一杯で複雑な心境です。

この成人式を大きな節目として、今までの視野をもっと広げいろんなことにも興味を持ち、沢山のことを経験、吸収し人間として大きな人的一步でも近づきたいと思えます。医療関係の仕事をする以上半端な気持ちではいられません。まだまだ未熟者でありませんが、四月からは成人として社会人として頑張りたいと思えます。ご指導をよろしくお願いたします。

気迫で

ぶつかる

石峯 茂樹
(岳辺田)



社会人となって二年間を過ごしてきたわけですが、今までは漠然としていた日々を価値ある一日に少しでもしていきたいと思えます。

やっと成人式を迎え、本当に大人の仲間入りとなったことで、現在の心境は嬉しさでいっぱいです。これからは、社会人としての自覚を持ち、何事にも全力でぶつかっていく気迫を持ち続けるようにし

夢と希望を

もって

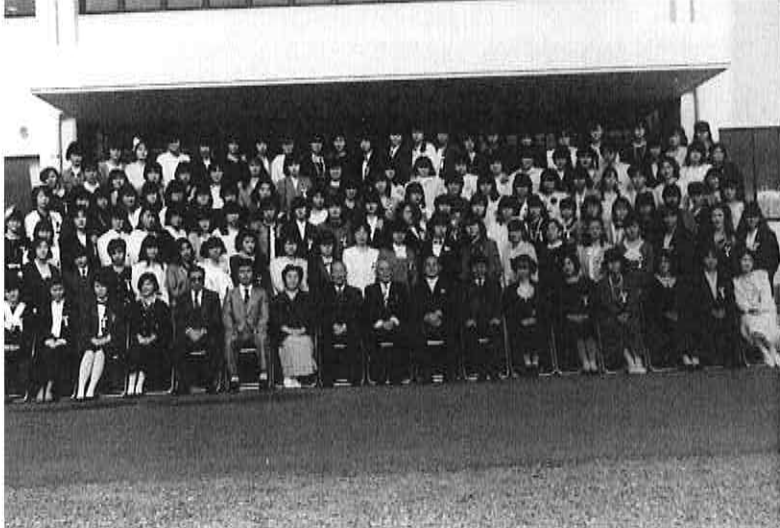
峯 妙子
(田ノ頭)



ていかなければならないと思えます。そうすれば、己ずとチャンスというものが自分の方に回り、人生が変わってくるのではないのでしょうか。また人間的にも今までのように人に頼ってばかりおらずに、今後は反対に相手に対し親切にして信頼される人間になりたいと思っています。

今からは地域の方々とのふれあいが増えることを学び、いろいろなことを学び、少しでも社会のためになれるように頑張りたいと思います。

もうすぐ……ずっと胸の奥であこがれ続けていた二十歳を迎える。今こそ、十代の自分を振り返り、反省し、そして二十代の、また大人の階段にふさわしい目標を定める時期なのかもしれない。人それぞれ道は異なっているけれども自分に満足のいく道、そん



成人を迎えることに、あまり感激がない。でも、第三者から「成人おめでとう、二十歳だね」と言葉を交わす機会が多くなって、しみじみと考



**行動・発言に
責任をもって**
横田 睦
(湯無田)

な人生を歩みたい。平凡でもいいから夢をもち希望のある明日を自分自身の手で一つ一つ切り開いていけたら……。一般に二十歳になると「大人」という扱いをされるけれども、ただ単に年をとっただけで何が大人なのか、年齢的に見た「大人」にすぎない。二十歳を迎えるにあたっては精神的に「大人」になることを考えていかななくてはならないと思う。それには、社会に対する認識不足を克服し少しずつ真の「大人」に近づけるよう努力したい。

最後に、ここまで育てて下さった両親に心から感謝したい。

ウタシも仲間入り！

バッシー・ブライアンさん (20歳)

今年の成人式に青い目の友達バッシー・ブライアンさん(米国イリノイ州出身)が参加しました。折敷瀬郷出身の山田聖剛さん(33歳=米国シカゴ市ノースウェスタン大学日本語・音楽教師)の教え子で現在早稲田大学の留学生。10年振りに里帰りした山田さんとともに式に出席。町長から「成年の書」が手渡され、感激した様子で本町の成人式を味わっていました。

「成人式は米国にはない。20歳は人生にとって大切な時期である。米国にも成人式があればと思う。波佐見にきて町民の連帯感、コミュニケーションを強く感じた。でも日本語難しいね」と感想を語ってくれました。

早大では、日本語と歴史を勉強中とのこと。昨年の9月から今年7月までが留学期間。「東京より波佐見が大好き」と笑顔で話すブライアンさん。何でも食べるからアダ名は「ゴミ箱」とか。ちなみに山田さんも好き嫌いなしでシカゴでは「小さな冷蔵庫」と呼ばれているそうです。今後のお二人の活躍を期待します。



▲ブライアンさんと山田さん

えるようになった。二十歳になった時点で選挙権がもらえる。この一票で自分の生活が始まると思うと、不安と期待が大きい。今になって一日一日がものすごく大切だなあと思えてきた。中学を卒業して社会人となっている同級生を見て、自分がものすごく遅れをとっているような気がしてならない。あせる気持ちも先にはならない、結局ウロウロしているだけで何の結果も残っていないかったという十代で自分の行動、発言に責任を持つてやっていこうと思います。幸い二年前から青年団に入

長い学校生活を終え、社会人としての生活を始めて早二年が過ぎた。この二年の間に



**人間関係を
大切に**
早川 正
(宿)

学校で学んだこと以外にいろんな面で多くのことを教えられる。中でも、よく考えることが人間関係の大切さだ。全く知らない人だったのに、ちよつとしたきっかけで一一緒に飲みに行くようになったり、また逆に、ささいな事で信用をなくしたり、親友まで失うなんてこともあるということだ。……だから、信用をなくさぬよう、親友を失わぬように人間関係を大切にしていきたいと思っています。

今からは人と接することが多くなるので、多くの方々の話を聞き、人間的に成長するよう頑張ります。

増田ファミリー

団体戦で初V飾る

——第三十四回町民卓球大会——

第三十四回町民卓球大会が十二月八日、波佐見中体育館で開催されました。

町内の中学生から一般まで約百人が参加し、団体戦、個人戦と終始白熱した試合を展開しました。

団体戦では、増田章治さん（折敷瀬）率いる増田ファミリーチームが、念願の初Vを飾り、個人戦では男子Aクラス



団体戦優勝の増田ファミリーチーム

（ミリ）
三位＝峯聡（川棚高）・江良清（折敷瀬）

（男子Bクラス）

優勝＝今里孝康（湯無田）
準優勝＝樋口隆二（波佐見中）

三位＝山口要（東彼農協）、中尾修久（波佐見中）

（女子及びベテラン）

優勝＝樋口倉雄（井石）
準優勝＝増田章治（増田ファミリー）

三位＝増田三和子（増田ファミリー）、福田泰子（波中教員）



野々川チーム強し

——町民バレーボール大会——

町民バレー大会が十二月八日波佐見中学校体育館で開催されました。

一般男子十チーム、一般女子六チーム、婦人の部十チームの約二百人が参加し好ゲームを展開しました。

試合の結果は次のとおりです。

歳時記

寒稽古

寒中の厳しい寒さの朝、少年剣士たちが、竹刀を持って道場に急ぐりりしい姿は、冬の風物詩の一つです。最近では、武道の復活でこうした姿をよく見かけるようになりました。

もっとも、朝の街かどでそれより目立つのは、ジョギング姿。寒ジョギングと云う言葉はありませんが、やはり、寒いからといって

怠けてはならないとばかり、寒中は、より一生けんめい走る気になるようです。

寒稽古というと、最近は剣道とか柔道のことと思っ

ている人が多いようですが、武芸に限らず、芸事、たとえば義太夫、長唄、清元、常磐津なども、寒中の朝に練習します。特に三味線は、寒弾と言って、寒中に弾く

といひ音色がでるといいます。それにしても、寒のころはちようど入学試験の追いこみの時期。予備校でも寒稽古（？）。早朝特別講習

の真っ盛りりのようです。

ところで、稽古と言えは冬の季節の一つに消防の出初式があります。新年に当たり、消防関係者が、初めて出そろって集団動作の訓練をするわけです。

出初式は各自治体ごとに行われ、日時についての決まりはありませんが、大体一月六日が中心です。

特に有名なのは、東京の出初式で、江戸の町火消しの伝統を受け継ぐ鳶職のはしご乗りなどが披露され、テレビなどで全国に紹介されています。



晴れの農林大臣賞

「わが村は美しく」コンクール 波佐見町が受賞

日本農村振興協会（検垣徳太郎会長）の主催する、今年度の「わが村は美しく」コンクールの最終審査会が十二月に行われ、晴れの農林水産大臣賞に本町が見事選ばれました。

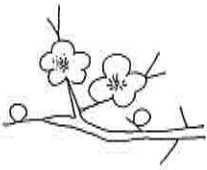
このコンクールは、総理府、農水省の後援を受けて五十年から実施されているもので、

農村振興対策・農業構造改善事業などを通じて住民が連帯感を強めて、豊かで明るい町づくりを目指している町村が対象となっています。

本町は、農業と陶磁器の農工共栄の町として、産業の振興を図るなか、「より美しく快適に住みよい町づくり」を合言葉に、花いっぱい運動や清掃活動などの美化運動に積極的に取り組んでおり、その実績が高く評価されたものです。

なお、最高の内閣総理大臣賞には、兵庫県一ノ宮町が受賞しました。

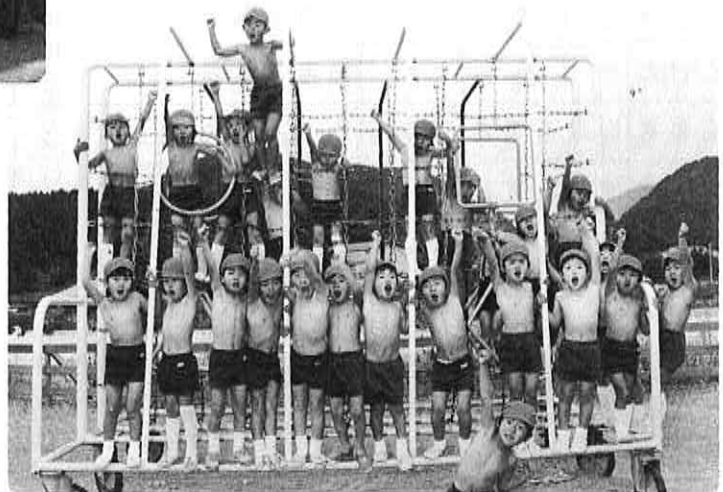
表彰式は、三月十八日東京で行われることになっています。この受賞を機会に、今後さらに町民一体となって美しい町づくりを目指したいと思っておりますので皆さんのご協力をお願いします。



◀チャリティーもちつき大会

12月21日蓮池保育園ではチャリティーもちつき大会を行いました。お父さん、お母さんらも応援にかけつけ、子どもたちと一緒に楽しい1日を過ごしました。なお、益金は歳末たすけあい募金に寄付されました。

カメラポ



▲「エイエイオー」で元気いっぱい！
波佐見東幼稚園



▲頑張れ豆剣士！
12月22日（南地区少年剣道大会）

寒割れ担当工事店

項目 部落	(正)	TEL	(副)	TEL
中尾郷	㈱本岡商店	85-2007	㈱百武建設	85-2242
三股郷	㈱百武建設	85-2242	㈱本岡商店	85-2007
永尾郷	㈱百武建設	"	㈱本岡商店	"
小樽郷	㈱百武建設	"	㈱本岡商店	"
野々川郷	上山建設	85-3697	㈱波佐見電設	85-2329
湯無田郷	㈱百武建設	85-2242	㈱波佐見電設	"
井石郷	㈱本岡商店	85-2007	波佐見建材店	85-2135
鬼木郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱百武建設	85-2242
金屋郷	㈱小佐々建設	85-2506	㈱松田建材店	85-3312
折敷瀬郷	波佐見建材店	85-2135	㈱小佐々建設	85-2506
宿郷	㈱松田建材店	85-3312	㈱小佐々建設	"
村木郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱小佐々建設	"
皿山郷	㈱小佐々建設	85-2506	上山建設	85-3697
稗木場郷	㈱波佐見電設	85-2329	㈱小佐々建設	85-2506
田頭郷	㈱小佐々建設	85-2506	波佐見建材店	85-2135
川内郷	㈱小佐々建設	"	上山建設	85-3697
岳辺田郷	中尾建設	85-5300	㈱堀池電器	85-3236
甲長野郷	中尾建設	"	㈱堀池電器	"
乙長野郷	中尾建設	"	㈱堀池電器	"
協和郷	㈱堀池電器	85-3236	中尾建設	85-5300
志折郷	㈱堀池電器	"	中尾建設	"
平野郷	㈱堀池電器	"	中尾建設	"

水道管は 万全ですか！

水道管の寒割れ対策はもうお済みですか。取付済の防寒材の破損・屋外の露出管の保温・メーター器の保護等は毎年点検整備されるようお願いいたします。もし水道管の破損が発生したら止水栓を締め別表

昭和五十九年度 上水道事業会計決算

の、寒割れ担当工事店（寒割れの場合それぞれの部落担当が指定されています。）へ連絡して下さい。

昭和五十九年度の上水道事業会計決算は、収入総額二億三千三百七十八万三千円、支出総額二億四千九百十六万七千円になりました。このうち収益的収支では、収入額二億三千五百七十七万八千円、支出額二億二千七百八十六万七千円、三百七十一万一千円の

黒字決算となりました。しかし、これは一般会計からの繰入金六千万円を受け入れていまして、これを差し引くと実質的には五千六百二十八万九千円の赤字経営ということになります。料金収入は、一億六千四百三十四万四千円、前年度より七百四十三万四千円（四・七％）の増収となりましたが、今年度は、例年より降雨量が少なく、干ばつが続いたために需要量、料金収入ともに予想以上の伸びとなりました。しかし、料金収入は、その年度の天候によっても大きく左右されますので、今後

もこのように収入の伸びが続くことは期待できず、依然として厳しい経営状況にあります。事業費用の面では、経費の節減と給水効率を高めるため、高水圧地区に減圧弁を設置するなど、施設の改善と合理化を積極的に進めた結果、わずかではあります。前年度より減少し、その効果があらわれていきます。特に施設の補修経費は、前年度の六百三十万円に対し、今年度は四百九十万円に減少しています。

路面での漏水事故が多く、補修経費も嵩んでいます。このような漏水をいかにして少なくするかは水道事業の安定経営と安定給水にもつながりますので、定期的に深夜の漏水調査を行うなど、漏水防止に努めています。皆さんにはたびたびご迷惑をおかけしてはいますが、水道事業に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、資本的収支については、収入額二百二十五万円に対し、建設改良費一千三百一十五万円、企業償還金八百九十九万五千円で、一千九百九十五万五千円の不足を生じましたが、これは過年度の留保資金で補てんしました。



湯無田浄水場

町の人事

町では、町職員人事異動を次のとおり行いました。

(一) 書きは旧役職名
保健衛生課長山口五郎(住民福祉課長)―十月十一日付
農林課長兼農業委員会事務局長田添強(農林課長)、住民福祉課長田中真佐亀(税務課長)、税務課長栗山正規(農業委員会事務局長)、農業委員会振興主事兼農林課主査松下幸人(農林課主事)、住民福祉課主査浦野敬士(同主事)、農業委員会書記補田崎和子(住民福祉課主事補)

以上十二月十六日付

善意の窓

○香典返しにかえて

宿郷 浅田 近義様

御尊父故浅田近雄様

平野郷 福田 義光様

御母堂故福田クミ様

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。

それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。

波佐見善意銀行

社会福祉法人

波佐見町社会福祉協議会

会長 福田 寛吾

お誕生おめでとう

- | | | | |
|--------|------|------|------|
| 野中 泰士 | 豊久 | 井石郷 | 折敷瀬郷 |
| 永田 琢也 | 芳 | 鬼木郷 | 折敷瀬郷 |
| 橋口 成一郎 | 純一 | 村木郷 | 折敷瀬郷 |
| 松永 美沙季 | 英明 | 村木郷 | 折敷瀬郷 |
| 藤 竜也 | 修治 | 岳辺田郷 | 折敷瀬郷 |
| 小柳 祥子 | 勝美 | 野々川郷 | 折敷瀬郷 |
| 川上 聡志 | 野々川郷 | 野々川郷 | 折敷瀬郷 |
| 野澤 真澄 | 野々川郷 | 野々川郷 | 折敷瀬郷 |
| 佐々木 淳美 | 湯無田郷 | 湯無田郷 | 折敷瀬郷 |
| 井手 慶太郎 | 湯無田郷 | 湯無田郷 | 折敷瀬郷 |
| 岩崎 諭 | 鬼木郷 | 鬼木郷 | 折敷瀬郷 |
| 杉本 舞 | 政弘 | 折敷瀬郷 | 折敷瀬郷 |
| 山田 ひとみ | 良人 | 折敷瀬郷 | 折敷瀬郷 |
| 洪川 みゆき | 治吉 | 折敷瀬郷 | 折敷瀬郷 |
| 原 明日佳 | 文和 | 宿郷 | 宿郷 |

ご結婚おめでとう

- | | |
|--------|------|
| 谷山 大治 | 東京都 |
| 一瀬 節子 | 中尾郷 |
| 中尾 泰成 | 三股郷 |
| 田崎 陽子 | 三股郷 |
| 村松 俊幸 | 川棚町 |
| 秀 美津子 | 永尾郷 |
| 長島 則行 | 野々川郷 |
| 三根 厚子 | 村木郷 |
| 生部 秀明 | 長崎市 |
| 福田 良枝 | 金屋郷 |
| 松尾 義博 | 宿郷 |
| 長与 友子 | 金屋郷 |
| 辻山 吉明 | 岳辺田郷 |
| 山口 佳津美 | 岳辺田郷 |
| 前田 政通 | 川棚町 |
| 吉崎 八重子 | 乙長野郷 |
| 加藤 元偉 | 大村市 |
| 川口 智子 | 鬼木郷 |
| 田中 武彦 | 西海町 |
| 針尾 こずみ | 金屋郷 |

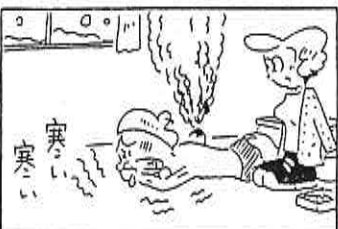
おくやみ申し上げます

- | | |
|--------|------|
| 三根 博美 | 宿郷 |
| 上原 陸子 | 沖繩県 |
| 神代 秀利 | 長崎市 |
| 有福 あけみ | 宿郷 |
| 小嶋 一也 | 村木郷 |
| 中村 弥生 | 西有田町 |
| 小林 清澄 | 川棚町 |
| 高島 嘉子 | 稗木場郷 |
| 上田 武久 | 71歳 |
| 山口 キミ | 84歳 |
| 廣瀬 恭一 | 81歳 |
| 山下 スナ | 87歳 |
| 中山 セキ | 82歳 |
| 大場 スギ | 72歳 |
| 石田 伊佐雄 | 76歳 |
| 安田 彌壽次 | 83歳 |

原爆死没者の調査にご協力を

厚生省では、現在、原子爆弾による被災の実態を把握するため、原爆死没者に関する資料を収集しています。官公署、団体などの調査報告や記録、学徒報告隊や学徒挺身隊の名簿、学校の学籍簿や同窓会名簿、企業の職員名簿、病院の診療録や死亡診断書、寺院の保存するり災者名簿、その他御家族、親戚、友人などで原爆により亡くなられた方のお名前がわかる資料など、どのようなものでも結構ですので、資料をお持ちの方はいは資料がある場所をご存じの方は、長崎県保健部原爆被爆者対策課(電話 〇九五八―二四―一―一 内線二四四―)までご連絡ください。

わが家





- 二月の納金**
- 水道使用料
 - 国民年金保険料
 - 国民健康保険料
 - 固定資産税

国民年金に任意加入している 奥様 届出はもうお済みですか

提出は一月三十一日まで

国民年金法が改正され、六
十一年四月から、厚生年金、
船員保険に加入しているご主
人に扶養されている奥様は、
保険料を納めなくても年金が
受けられるようになります。
そのためには届出をしなければ

現在、国民年金に任意加入
されている方には、十月末か
ら十一月初めにかけて、社会
保険庁から「国民年金任意加
入被保険者現況届書」が送付
されておりますので、必要事

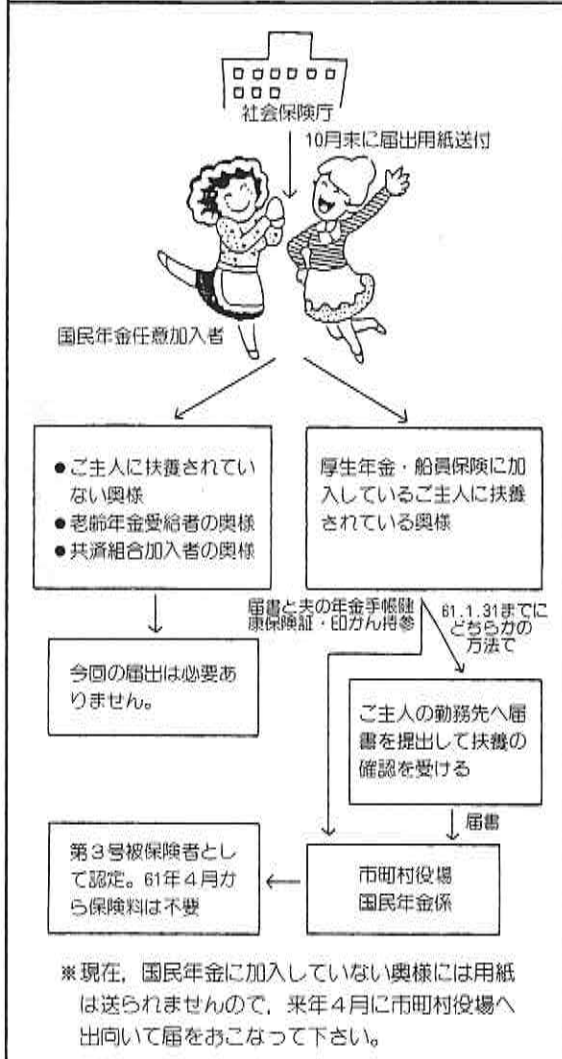
項を記入しご主人の勤務先で
確認をうけたうえで役場年金
係へ一月三十一日までに提出
してください。

なお、現在国民年金に任意
加入している奥様で届出用紙
が送られていない方は、お手
数ですが役場年金係で用紙を
受けとり同様の手続きをして
ください。

この届書は、奥様方ひとり
一人の将来の年金を受給する
資格を確保するため極めて重
要なものですので、忘れない
ようにくれぐれも注意して
ください。

届出の必要のない奥様
届書の用紙が送られてきた
方でも、ご主人が老齢年金を
受けている場合と奥様自身に

第3号被保険者の手続き



町県民税申告受付日程

地区	日	時	場所
小樽郷	2. 1 (土)	9:00~11:00	小樽郷公民館
三股郷	2. 3 (月)	9:00~11:00	三股郷公民館
永尾郷	2. 3 (月)	13:30~16:00	永尾郷公民館
鬼木郷	2. 4 (火)	9:00~12:00	鬼木郷公民館
中尾郷	2. 4 (火)	13:30~16:00	中尾郷公民館
野々川郷	2. 5 (水)	9:00~12:00	野々川郷公民館
湯無田郷	2. 5 (水)	13:30~16:00	湯無田郷公民館
金屋郷	2. 6 (木)	9:00~12:00	金屋郷公民館
井石郷	2. 6 (木)	13:30~16:00	井石郷公民館
田ノ頭郷	2. 7 (金)	9:00~12:00	田ノ頭郷公民館
川内郷	2. 7 (金)	13:30~16:00	川内郷公民館
稗木郷	2. 8 (土)	9:00~12:00	稗木郷公民館
皿山郷	2. 10 (月)	9:00~12:00	皿山郷公民館
折敷郷	2. 10 (月)	13:30~16:00	折敷郷公民館
甲長郷	2. 12 (水)	9:00~12:00	甲長郷公民館
辺田郷	2. 12 (水)	13:30~16:00	辺田郷公民館
岳和郷	2. 13 (木)	9:00~12:00	岳和郷公民館
乙長郷	2. 13 (木)	13:30~16:00	乙長郷公民館
志折郷	2. 14 (金)	9:00~12:00	志折郷公民館
平野郷	2. 14 (金)	13:30~15:00	平野郷公民館
村木郷	2. 15 (土)	9:00~12:00	村木郷公民館
宿郷	2. 17 (月)	9:00~16:00	宿郷公民館

60年度

町県民税の申告について

町県民税の申告の時期にな
りました。前年中に所得のあ
った人は、必ず申告をしなけ
ればなりません。

申告は、三月十五日までと
なっておりますが、役場税務
課では次の日程で町内を巡回
して申告を受け付けることとし
ています。申告される方は、
必要な資料と印かんを必ず持
参してください。

詳しくは、各家庭に配布し
ているチラシ（町県民税申告
課では次の日程で町内を巡回
している）をご覧ください。

収入があり、扶養されていない
方は届出の必要がありません。
又、ご主人が共済組合に
加入されている場合も、今回
は届出が不要です。
詳しいことは、役場年金係
へおたずねください。